

社民党

渡辺みのる通信

● 第7号 ●

発行日 / 2009年(平成21)4月(3月議会号)
発行 / 渡辺みのる後援会
石川町大字北山形字引地1
電話 & FAX 0247-26-6994
携帯 090-2798-0434



写真説明 急な雑木林を登っていくと、そこはイワウチワとショウジョウバカマの世界である。ふもとでは桜の開花で賑わっている頃、可憐な花をひっそりと咲かせている。石川地方にもこんな景色が残っていると思うと、心がおどる。

4月から、自治センターがスタート 新緑に触れ、体のリフレッシュを

寒い冬が過ぎたかと思うと、あっという間に春となってしまいました。卒業式、入学式、お花見とあわただしい日々の中にも、春が押し寄せてきています。

石川町の1年間の事業や予算を決める3月議会が3月5日から12日まで開催されました。

今度の議会は、地区公民館を自治センターに換えることや工業団地の造成に着手すること、介護保険料の引き上げ、子どもの医療費の補助、第5次総合計画の初年度事業などを審議しました。

自治センターの設立と工業団地造成、介護保険料引き上げには反対しましたが、賛成多数で可決されました。これから町民のためになるよう監視や提言をしていかなければならないと考えています。

うららかな春の光を浴びながら、自然にふれて、草木のエネルギーをもらって、リフレッシュしてはどうでしょうか。

山菜もふきのとう、せりに始まり、みつば、たらの芽、こしあぶら、ふき、うど、わらび、ぜんまい、うるい、ごごみ、さんしょう、よもぎ、みずな、しどきなど、今が旬でしょう。

一桜でまちおこし、60年前植えた人に感謝 高田桜の子孫を増やしては

- ・4月は桜の季節、桜にまつわる一言を紹介します。
- ・桜はバラ科サクラ属、日本には約340種あるとか。町内ではソメイヨシノが一番多い、高田桜はエドヒガンサクラであり、シダレ、オモカワ、イロハ、ヤマザクラなどがあります。
- ・河川敷へ植えられたのは、昭和24年から26年にかけて、役場職員と町内会長たちによって、役場前宮橋から北町築石橋まで植えたのが始まりです。60年でこのようになりました。
- ・県指定天然記念物になっている高田桜は、樹齢450年、周囲630cm。最後の石川城主昭光が植えたといわれています。
- ・桜は4月の誕生花、花ことばは精神美とか。
- ・日本画家の須田拱中さんが、石川に桜の大作を残しています。戦後北山形の人たちの依頼に応じ、「新しい教育」と題して、桜に鹿の絵を画きました。現在は石川小学校に掲げられています。



石川中学校脇の桜小道

- ・桜での町おこし、50年100年後の姿を見据えて行っては。高田桜の子孫だけを増やしては。川の中から、桜が楽しめるような、臨時の遊歩道の設置などの声が聞かれます。

3月議会的一般質問から

渡辺：今までの公民館活動を維持できる仕組みは
町：教育委員会が定期的に会議を持ち対応する

質問 自治センター、なぜ4月からなのか、住民合意が得られていない状態でなぜスタートするのか伺う。



答弁 少子高齢化が進んでおり、今から備えることが大切です。第5次総合計画に合わせてスタートします。逐次改善を図りながら各地域が活性化する仕組みを作っていきます。

質問 人づくりの中心である社会教育・公民館活動が維持され、充実できるのか。また、時代に合った社会教育の展開ができるのか伺う。

答弁 系統的、継続的な定期講座や講演会、研修などを行い、社会教育を充実させます。新たな地域課題にも対応していきます。

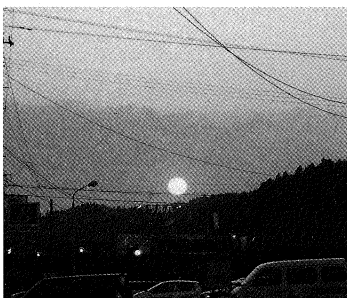
自治センターは今まで通り、生涯学習事業を行い、教育委員会も条例上に位置づけているように積極的に入っていきます。

質問 教育委員会として公民館活動保障のため、自治センターの定期的な会議を持つのか伺う。

答弁 条例にも明記しているように対応していきたい。

質問 町民の目線で公民館運営するため、公民館運営審議会を再度設置べきと思うが、その考えを伺う。

答弁 今ある社会教育委員に審議をしていただく考えです。



春霞の中に沈む石川の夕日(双里地区から)

質問 自治センターへの交付金(各地区の場合50から100万円、旧石川100から150万円)は誰に交付し、事業の決定は誰が行うのか。

答弁 地区まちづくり委員会に交付し、委員会の中で決



**定額給付金で、お金のばらまき
 高速料金千円で地球温暖化に拍車
 選挙後、大增税とは**

1人12,000円(65才以上と18才以下は2万円)の定額給付金の支給が始まりました。これで景気が良くなるのでしょうか。国予算は2兆359億円、町には2億9千万円がくる。地域経済の影響や雇用、低所得者への改善がされるのか疑問です。

高速料金が土日祝日に限り、千円乗り放題になりました。交通量が増加したそうです。CO₂が増加し、京都議定書の約束は守れません。なぜ、軽自動車と普通車だけなのか、なぜ、ETC車だけなのか。

このための国の予算は5,000億円とか。

さらに、政府は4月10日15兆円の大型補正を発表。お金がないので国債(借金)発行で対応とか。

現在の国の借金額は、581兆円(国民1人当たり455万円—国税収13年分)あります。

財政も破綻、地球温暖化も歯止めもきかず、そして、待っているのが大增税では国民はたまったものではない。雇用の確保、安心に暮らせる政策をしてほしい。

定していただくこととなります。

質問 区長さんや地区の人たちで構成する委員会で決定することは、大変でないか。地区ごとの格差が生じないか伺う。

答弁 相談には乗っていききたい。地域の個性や特色を生かした「スペシャルな地域」「オンリーワンな地域」をつくり、地域を元気にしていただくと考えています。

質問 公民館の活動に行政区からの助成があるところとないところがあり、不均衡状態になっている。このまま継続していくのか伺う。

答弁 基本的には継続していくが、問題があれば改善していきたい。

質問 次の3点を教育委員会に要望します。

- 1) 毎年、町社会教育の計画及び指針をつくること。
- 2) 長期的な社会教育・公民館のあり方の方針を出すこと。
- 3) 60年間の公民館の歴史をまとめること。

3月議会で可決された主な議案と議員の対応と理由

自治センター設置関連と介護保険料引き上げ、工業団地造成に反対

①自治センター設置関連(反対)

条例の制定及び公民館条例の改正、課設置条例改正、20年度補正予算、21年度予算

*社会教育・公民館の充実のためと町民の理解が得られていない段階でのスタートに反対した。

②企業立地のための緑地及び環境面積の緩和条例(賛成)

③町長及び職員の給与の特例条例(賛成)

④国民健康保険条例の改正(賛成)

⑤介護保険条例の改正(反対)

*65才以上の方の保険料を月365円アップし、2,965円とするもので、10年間で36.8%も上昇し、低所得者へ厳しいものとなるため反対した。

⑥工業団地造成予算(反対)

*現時点で企業誘致の見通しが不明中、この経済情勢下で造成することに反対した。予算額3億5千万円。

⑦指定管理者の指定(賛成)

一般質問から

**渡辺：介護従事者のため助成金の検討を。リハビリ機能の充実を。
町：早急に実態調査をする。リハビリ機能の不十分さは認識。**

質問 介護保険が始まって10年目、今回第4期(21年～23年)計画を策定したがその概要を伺う。

答弁 第4期は「健康で人にやさしい町」を念頭に計画を策定した。第3期と比して、給付費が10%増加するため、保険料が高くなる。抑制に務めたが65才以上の方は平均で、月365円アップの2,965円となります。

質問 介護を支える従事者の人材確保が大変になってきているが、現状はどうなっているのか。

答弁 国も介護従事者の処遇改善策として今回の介護報酬改正をしたところである。早急に実態調査を実施します。

質問 介護は雇用の場でもあり、従事者の待遇改善のため、町の支援を検討していただきたい。

又、今町の介護事業でリハビリ機能の不十分さが大きな課題であるが、その対応を伺う。

答弁 リハビリ機能が不足している、町内の事業所にもなく、資格を持った職員がいれば、今以上に充実した事業になると考えています。

答弁 12年後には65才以上の高齢化率が35.6%(現在27%)と予想され、郡内1番になる。

行政区や組単位に課題を検討し、対策を講じられるよう要望します。

**21年度当初予算(1年間の計画)
総額94億9千万円
町民1人当たり523千円で、昨年比2,820円の増**

1年間の計画である当初予算が提案され、可決されました。一般会計で昨年比0.1%増の58億2千万円、特別会計で36億7千万円、計94億9千万円となりました。

21年度の主な事業(一般会計)

事業名	予算額 千円
石川地方生活環境施設組合負担金	469,285
消防総務費(広域消防負担金含)	291,664
後期高齢者医療事業	221,642
障害者自立支援事業	145,781
児童手当給付事業	121,545
道路維持補修事業	80,500
道路整備事業	77,530
老人ホーム運営経費	66,138
老人施設入所経費	62,177
中小企業対策事業	61,200
保育所・児童館運営経費	60,965
特老施設整備支援金	53,602
子ども医療費助成事業	51,695

子どもの未来のために ⑥

学校が子どもたちを追いつめていないか

今年度の初日は、月曜日だった。この一週間は子どもにとっても、教師にとっても長い長い一週間になった。ここ2週間で体調を崩す子どももめだった。

今年の4月は、今までとは違う。子どもたちの学習時間が増え、5校時や6校時が多くなった。放課後の時間が少なくなった。自分が企画し、自分がしたいことを取組時は、多少無理しても疲れを感じない。しかし、すべきことを強いられると、精神的にも肉体的にも疲れ、ストレスとなる。今の学校がそのような状況にあるのでないかと思う。

「分かった」「できた」という時の子どもの顔は、本当に素敵だ。真剣に考えている時の表情もいい。知的好奇心は誰にでもあり、それを満足させるのが学校の大きな役目だといえる。テレビに映し出される海外も子どもたちの「学びたい」「学校へ行きたい」というきらきらしたまなざしと自分の教室にいる子どもたちがオーバーラップする。「早く休みにならないかな」とつぶやく子どもたちにとって、学校ってなんだろう。

過日、全国一斉学力調査があった。教育現場にとっては、必要のない、ありがた迷惑の代物である。ほとんどの学校では、年度末に学力テストを実施し、一人ひとりの子どもへの対応策がすでに出ているからである。

学校が子どもを追いつめるようなことをしてはいないか、年度当初に考えさせられる行事であった。

(F・S)



4月23日、石川共同福祉施設で開催された第54回地方メーデー

21年度 主な新規事業

事業名	予算額 千円
農産物地域育成事業	778
ため池整備事業負担金	3,230
観光街路灯整備事業	12,600
桜保全活用事業	4,427
子育て応援事業	1,600
産業交流祭事業	3,500
石川交流・連携事業	1,100
文化財普及活動事業	430
中学校耐震補強事業	30,000

介護保険計画の内容 (生涯いきいきをめざして)

3年間の介護費標準給付費の見込みは31億2千3百万円

4月から24年3月までの老人福祉計画と第4期介護保険事業計画「生涯いきいきプラン」が作られました。65才以上の方が対象の計画で、3年ごとに見直しが行われています。

超高齢化社会が来る中で、大切な計画となります。

◆高齢者の状況と計画の基本方針

- * 高齢者の現状は(平成20年度)
高齢化率(65才以上の人口比): 27.0%
要支援・要介護認定者: 674人(高齢者比13.7%)
- * 高齢者の予測(平成26年)
人口予測: 16,884人
高齢化率: 33.05% (5,563人)
認定者予測: 826人(高齢者比14.85%)

◆計画の基本方針

- ①必要なサービスを確保し、さらに住み慣れた自宅での生活を応援します。
- ②地域の支え合いを応援します。

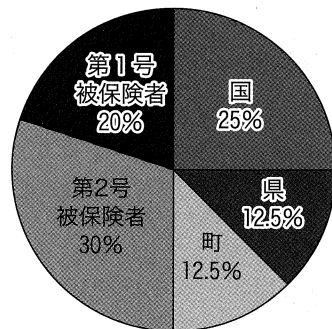
◆具体的な事業展開

- * 地域における生活支援の推進(緊急通報システム外)
- * 健康づくり・予防介護の推進(ミニデイサービス外)
- * 介護サービスの提供体制の確保と質の向上
- * 生きがいづくりの推進

◆介護保険サービスの内容

- * 介護保険財源構成
- * 居宅サービス (14種類のサービス)
- * 地域密着型サービス (6種類のサービス)
- * 施設サービス (4施設のサービスを設定)
- * 特別給付 (紙おむつ購入費支給)

保険給付の財源構成



議会活性化のため、4月24日 議会と町民との意見交換会を開催

議会では、議会活性化のための議会改革をめざして、検討会を重ねて来ています。

討論の活発化や町民に開かれた議会、政策を提案する議会、町民の声の反映と共に進む議会をめざしていますが、4月24日共同福祉施設で町民との意見交換会を開催しました。

各団体の皆さんから貴重なご意見いただきありがとうございました。活性化に役立てていきます。



朝日を浴びているショウジョウバカマ

比例区は社民党へ

●石川の桜にまつわる俳句や和歌●

江戸時代吉田露珊が詠んだ桜谷とは

江戸時代から俳句の盛んであった石川で、桜はどのように詠まれていたのでしょうか。

静けさや 散りすましたる 桜谷

これは1794年(寛政6)に死亡した石都々古和気神社宮司吉田紀光(号露珊)が詠んだもので、墓碑に刻まれています。

又、1751年(寛延4)、石川町字下泉の庄屋、鈴木重俊(号英夕)は「俳諧不断桜」という句集を編んでいます。さらに、大正時代には本町の形見出身で、日本を代表する俳人三森幹雄は次の句を残しています。

今日ははや 山にかぶさる 桜かな

双里字白坂下に句碑が大正7年に建てられています。

このほか、三森は小野町の飯豊八幡にも「見る人もともにゆくしき 桜かな」という句を残しています。

三森の弟子である湯郷渡の永沼要人(号玉友)は「永沼家集—玉友翁句集」の中に次の句を残しています。

桜か香や 当たり見まはす 旅の宿

1894年(明治27)、石都々古和気神社神官の吉田光一も桜にちなんだ和歌を2種詠んでいます。

わかやどにははの桜の咲きしより 双里に建つ三森の句碑 知らぬ人にもとははれるかな

桜花ちるはすへなし志かはあれど 雨な降りそねかせな吹きそね

平安時代の女流歌人和泉式部伝説が息づく本町にも、桜を詠んだ式部の伝承歌が残されています(曲木字小和清水に句碑)。

薄墨の桜はいまも咲きにけり 身はふりぬとも名こそ栄ゆれ

